

授業科目名： 発達障害教育指導法 (2)	教員の免許状取得のため の 選択科目	単位数： 2単位	担当教員名：阿部 利彦 担当形態：単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科 目	特別支援教育に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目</li> <li>・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目</li> </ul>		
<p>「学位授与の方針」との関係 インクルージョン教育に基づいた社会実践を担う人材育成を目的としている。 星槎共生スピリットの「共生社会の創造に貢献する姿勢を身につける」ことを目指す科目である。</p>			
<p>授業のテーマ及び到達目標 特別支援教育の手法を学び、課題を抱えた子どもに対する具体的な支援計画を立てることができる。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>今日では、学校で子どもたちが直面する問題も多様化・複雑化してきており、柔軟な手立てや支援機関との連携が求められるようになってきている。そこで、通常学級にいるさまざまな困難や支援ニーズを持つ子どもをサポートする方法について探求していく。そのために、印刷教材などでさらに知識を深め、スクーリングにおける討論や演習を通じて理解を深める。</p> <p>なお、本授業は教育的支援に関するものであるため、成人期の発達障害については扱わない。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：発達障害の特性 第2回：発達障害の理解 第3回：心理教育アセスメントについて 第4回：個別の指導計画と学習指導案の作成 第5回：学習上のつまずきと支援 第6回：行動上のつまずきと支援 第7回：運動面のつまずきと支援 第8回：社会性のつまずきと支援 第9回：クラスワイドのソーシャルスキル指導 第10回：授業を通じてのソーシャルスキル指導 第11回：通級や支援教室を活用した支援方法 第12回：支援員との連携による支援方法 第13回：保護者との面接及び家族内の関係調整 第14回：クラス担任・学校へのコンサルテーション 第15回：教育のユニバーサルデザインと合理的配慮</p> <p>定期試験</p>			

スクーリングでの学修内容

発達障害のある子どものこまり感の疑似体験などを通じて理解を深めた後、事例を通じて通常学級と個別支援をどう組み合わせしていくかを対話形式で検討する。

(主に、第1～2、5～8、11～14回の内容を含む。)

教科書

(1) 阿部利彦・岩澤一美(2019)『これだけは知っておきたい 発達が気になる児童生徒の理解と指導・支援』金子書房

参考文献

(1) 阿部 利彦(2009)『クラスで気になる子の支援ズバツと解決ファイル』金子書房

(2) 阿部 利彦(2012)『クラスで気になる子の支援ズバツと解決ファイル NEXT LEVEL』金子書房

学生に対する評価

レポート評価(25%)、スクーリング評価(25%)、科目修得試験(50%)の割合で総合して評価する。